



Global Compact Network
Japan

活動に関するアンケート

調査対象: 気仙沼大島ボランティア活動の全参加者

調査期間: 2011年11月16日～2011年12月4日(最終回答日)

調査方法: ウェブ/ネットワークを利用したアンケート形式

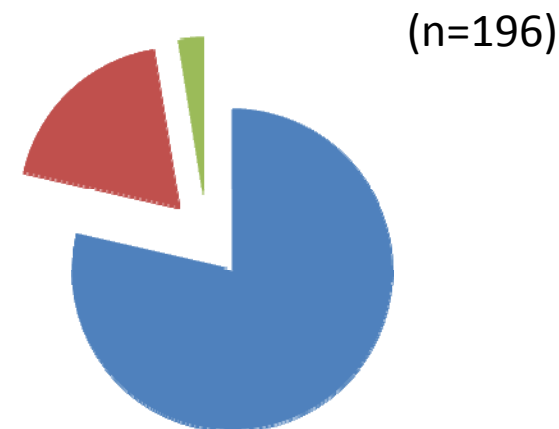
回答数: 196/282

回答率: 70%



Q1: 活動への満足度を 5段階で評価してください。

回答項目	回答数	割合
とてもよかった	154	79%
まあまあよかった	37	19%
ふつう	5	2%
あまりよくなかった	0	0%
よくなかった	0	0%



<コメント抜粋>

- ✓ 誇れる仕事が出来た
- ✓ 報道をみているだけではなく、自分の目で肌で感じ取れた
- ✓ 些細なことでもお役に立つことができてよかった
- ✓ 次のボランティアへのきっかけが出来た
- ✓ 他社、地元の方々との交流がよかった
- ✓ はじめてボランティア活動に参加して、ボランティアの力と何が企業(個人)として支援できるか考える上で意義ある活動となった



Q2: 活動の中で有意義に感じたプログラムは何ですか？ (複数回答可)

回答項目	回答数	割合
ボランティア活動 (浜辺の清掃、民家の片付け、写真洗浄など)	180	32%
地元の方のお話 (災害対策本部長、地元の方)	165	29%
被災地見学(気仙沼港/大島)	121	21%
大島観光地視察	76	13%
その他	27	5%

(n=569)



<コメント抜粋>

- ✓ がれき撤去後の綺麗になった田んぼを見て役に立っていると感じる事ができたから
- ✓ 実際に現地の方の話を聞いて現実と想像のギャップに気付く事ができたから
- ✓ 全ての活動で報道では分からないことを感じる事ができたから
- ✓ 様々なことを考え、成長できたと感じるから
- ✓ 復旧の役に立てたことがうれしかったから

<その他>

- ✓ 参加者との交流 (特に他社との交流)
- ✓ 最終日のミーティング など



Q3: 活動の中で印象に残ったことを教えてください。

(n=186)

<コメント抜粋>

- ✓ 震災で被害にあっている人から温かいことばをもらい、心に沁みた
- ✓ ボランティア参加者/他ボランティアのモチベーションの高さや一体感
- ✓ 白幡災害対策本部長の話
- ✓ おばか隊や地元のみなさんの明るさ、前向きさ
- ✓ 自然災害の恐ろしさ、美しい風景と被災場所
- ✓ 多くの人が力をあわせると大きな力になることがわかったこと
- ✓ 復興状況の現実を目の当たりにしたこと



Q4: 活動の中で改善したほうが いいと思うことを教えてください。

<コメント抜粋>

(n=181)

全般

- ✓ Civic ForceとGlobal Compactの位置づけが不明
- ✓ 事前情報・引き継ぎが不足している
- ✓ 参加枠を広げてほしい(退職者、家族も参加できるようにしてほしい)
- ✓ 首都圏以外からの参加者に配慮してほしい
- ✓ 最終日のレビューのレポート先が分からない

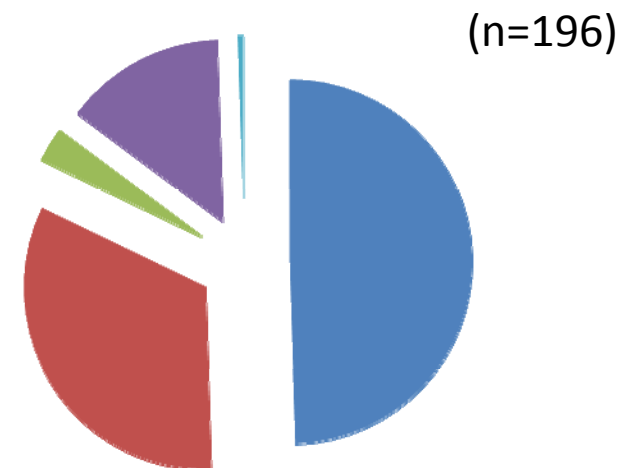
活動

- ✓ 活動時間があまりに短い
- ✓ 作業がハードであった
- ✓ リーダーの負担が大きすぎる
- ✓ 現地の方との交流が少なかった
- ✓ 長時間のバス移動は疲れる
- ✓ 雨の日の活動があればよい
- ✓ 道具が足りない
- ✓ 安全確保が徹底されていない



Q5: 活動後、生活や仕事に 影響・変化を感じましたか？

回答項目	回答数	割合
ある(生活・仕事ともに)	97	49%
ある(生活)	64	33%
ある(仕事)	6	3%
ない	27	14%
未回答	1	1%



<コメント抜粋>

生活

- ✓ 人との連携や協力が必要だと感じた
- ✓ 感謝の気持ちを、友人、家族、職場の人に持つことが出来た
- ✓ 家族で話す機会が増えた、家族に体験させたい
- ✓ ボランティアでほめられたので子供をほめることが重要だと感じた

仕事

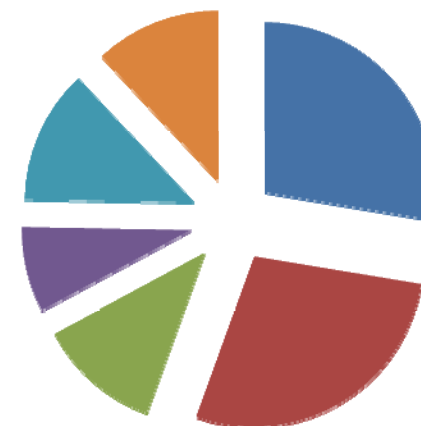
- ✓ 会社だけではなくいろいろ活動をしたい、また既に始めた
- ✓ 会社のCSR/社会貢献について考えるようになった、社会貢献を意識するようになった
- ✓ グループのマネジメントや意思疎通などについて考えさせられた



Q6: 活動を通じて得た経験を何に 活かせると思いますか？ (複数回答可)

回答項目	回答数	割合
家族との関係	95	27%
職場・仕事での人間関係	96	28%
リーダーシップ	40	12%
マネジメント	28	8%
他のボランティア活動	44	13%
その他	41	12%

(n=344)



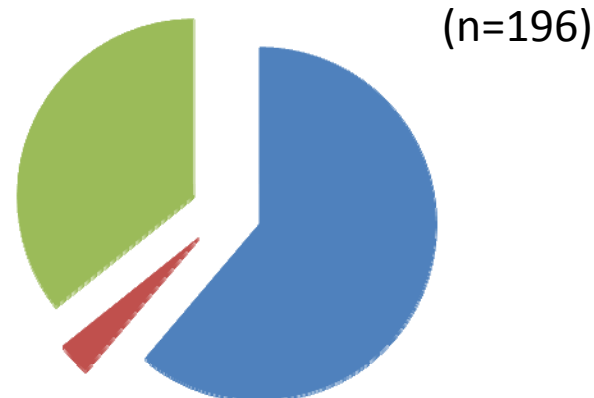
<コメント抜粋>

- ✓ 会社組織のような上下関係が無い場合での運営の仕方を学んだ
- ✓ 社内の他の組織の人とボランティア活動を通じて話ができるようになった
- ✓ 自発的な行動、高いモチベーションの組織などの経験を所属する組織で活かしたい
- ✓ お客様に経験や自社の取り組みが話せるようになった
- ✓ 仕事への意欲が湧いてきている
- ✓ 他のボランティア活動でもリーダーシップをとっていきたい
- ✓ ほめてやる気を引き出す方法は、人に頼むとき／動かす時にとっても役立ちそう



Q7: また気仙沼市大島に行きたいと思いますか？

回答項目	回答数	割合
はい	120	61%
いいえ	6	3%
未回答	70	36%



<コメント抜粋>

- ✓ 観光で訪れたいから(全てが魅力的、もっと知りたい、家族や友人に見せたい etc.)
- ✓ また地元の方に会いに行きたいから
- ✓ 復興の様子、復興後の姿を見てみたいから
- ✓ 復興にはまだ人手が必要だから、継続的な支援が必要だから
- ✓ 生涯忘れることはないだろうから
- ✓ 故郷にしたいと思うから

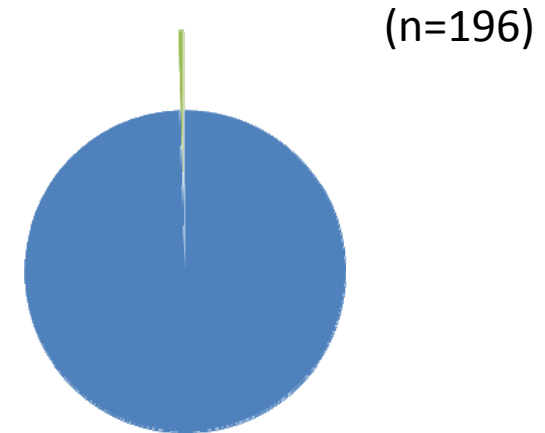
(いいえ)

- ✓ 他の地域でのボランティアも経験したいために、あえて大島に行きたくないと回答した。



Q8: 今後もボランティア活動をしてみたいと思いますか？

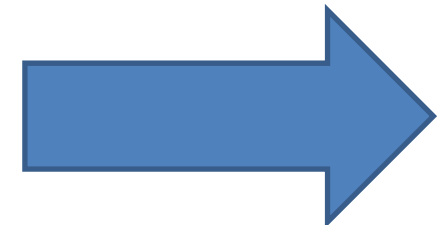
回答項目	回答数	割合
はい	195	99%
いいえ	0	0%
未回答	1	1%



<コメント抜粋>

- ✓ 自分でも力になれることがわかったから
- ✓ 色々と考えさせられたから
- ✓ 継続した支援が必要だから
- ✓ コレクティブアクションのポリシーに賛同するから
- ✓ 困っている人の役に立ちたいと感じるようになったから
- ✓ 知らない人との共同作業は楽しかったから
- ✓ 誰かの為になる喜びをまた感じたいから

Q9～Q13：
気仙沼大島の復興に向けた
継続的支援について
アイデアを伺いました。

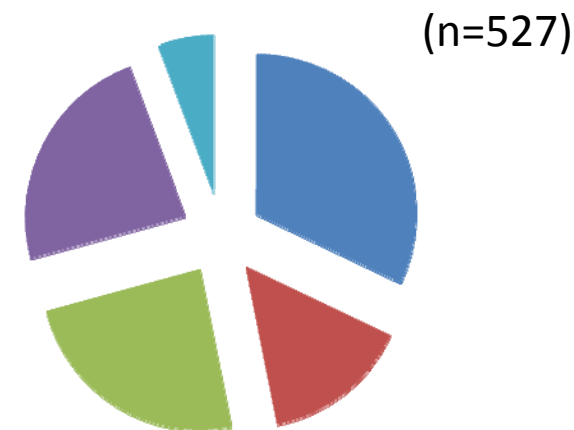




Q9: 気仙沼大島の良さは 何だと思いますか？

(複数回答可)

回答項目	回答数	割合
海	169	32%
山	78	15%
人	126	24%
食べ物	124	23%
その他	30	6%



海と浜の美しさ
鳴き砂
マリンスポーツ
崖、岩場の景色
朝日、夕日
魚影が豊富
色を変える海



太平洋が一望
周りの風景
手頃な標高
自然が豊か



助け合いの心
とても人情があって温かい
気さくでがんばりや
絆を大切にする
小さな島ならではのふれあい
みんなが笑顔
民宿の方の人の良さ



米
海産物
松茸
ホタテ
全部おいしい！





Q10: 気仙沼大島の復興に向けて 何が必要だと思いますか？

(n=187)

<コメント抜粋>

- ✓ 宣伝(メディアへの配信、HPの充実)
- ✓ 心のケア
- ✓ 継続的な支援(ボランティア、資金、技術の提供 etc.)
- ✓ よりの確なニーズ把握
- ✓ リーダーシップ
- ✓ 経済基盤(雇用)
- ✓ 海中の掃除
- ✓ ビジョン、住民の意思
- ✓ 行政との連携
- ✓ 観光の目玉、特産物
- ✓ イベント(トライアスロン、マラソン)
- ✓ 交通インフラの整備(橋、港、道路 etc.)



Q11: 復興のために会社が事業や技術を使って 貢献できることは何だと思いますか？

(n=174)

<コメント抜粋>

- ✓ 思いつかない・あまりないと思う
- ✓ 人材の雇用
- ✓ 地元の商工会連合会や自治体への提案
⇒(行政上のおかしな点を被災者にかわり指摘する)
- ✓ 宣伝(観光のPR支援として、パンフレットやビデオの製作/配信の支援)
- ✓ 会社の持つ工業・IT技術の提供
- ✓ 役所の出張所機能の効率化／IT化(証明書類の発行や、出張所－市役所間の会議システム、各高齢家庭の見守りシステムなど)
- ✓ 事業所のゼロエミッションや生物多様性の取り組み、リサイクル技術の適用
- ✓ 節電テクノロジー、太陽電池/太陽光発電
- ✓ 顧客との連携



Q12: 復興のために事業以外で継続してやるべき活動は何だと思いますか？

(n=179)

<コメント抜粋>

- ✓ 継続的なボランティア支援(気軽に参加できる風土づくり含む)
- ✓ 教育ツアーや保養所・研修所をつくる
- ✓ コンテスト旅行、職場旅行先にする
- ✓ 公私における継続的な情報発信
- ✓ 観光ツアー
- ✓ イベント支援(祭り、マラソン大会)
- ✓ 社員食堂で現地の水産物を使ったメニューを提供
- ✓ メンタルケア
- ✓ 寄付・東北地方での経済活動
- ✓ 防波林の植樹支援
- ✓ 島民を企業主催のイベントに招待する(ex. Xerox Super Cupに招待するなど)



Q13: その他、ご意見・ご感想がありましたらご記入ください。

(n=82)

<コメント抜粋>



- ✓ また行きたい
- ✓ かけがえのない体験をすることができた
- ✓ 出来る限り継続してほしい
- ✓ 大島以外の地域は大丈夫?
- ✓ 人のつながりをもつことができた
- ✓ ひとりでも多くの人に参加してほしい



- ✓ 活動がどう役に立つのか、誰に対して貢献できるのか、もう少し具体的な説明が欲しかった
- ✓ 活動が非効率的だったので、参加者の労働力を上手に最大化してほしい
- ✓ もっと満足のいく活動ができたはず



まとめ

- 参加者の多くは全てのプログラムを通じて概ね満足している。日常生活にも活かせるような経験を得ることができ、現地との関わり方にも好影響を与えたと思われる。一方、改善点についても多くの指摘があったので、今後に生かしていきたい。
- 大島の復興についても参加者が多くのことを考えていることが分かった。事業や技術を使っの貢献と事業以外の活動を通じて、大島の復興・支援に共に長く携わっていきたい。
- 復興検討ミーティングをはじめ、活動全般を通じて現地の状況について深く考えるとともに、企業の枠を越えた連携が深まりつつあるので、今後ともこの点に注力していきたい。